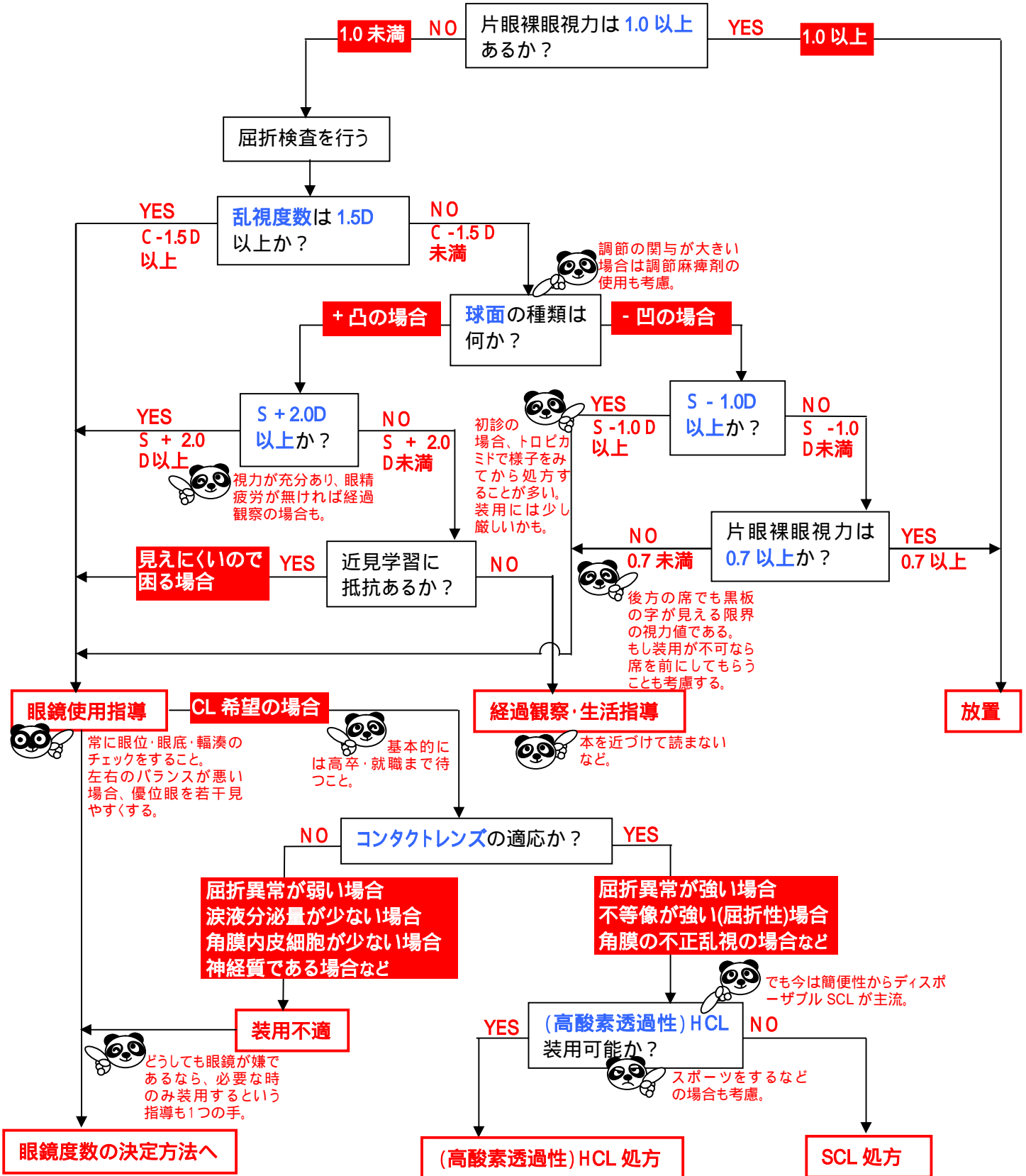


弱視がない場合の児童生徒の眼鏡・CL 要否決定方法例 参考)湖崎 克先生



あくまでも例なので、本人や環境などのバランスを考えて総合的に判断して処方すること。



まとめ (大まかに)

- 児童・生徒(弱視がない)場合 両眼矯正視力 = (0.7 ~ 1.0) 位になるように !!
- 初めて
    - 裸眼視力 0.7 以上で(遠見・近見)学習に困らない } 経過観察
    - 裸眼視力 0.7 以上で(遠見・近見)学習が困る } 眼鏡処方
    - 裸眼視力 0.7 未満 } 両眼矯正視力 = (0.7 ~ 1.0) 位
  - 眼鏡装用経験あり
    - 眼鏡視力 (0.7) 以上で(遠見・近見)学習に困らない } 経過観察
    - 眼鏡視力 (0.7) 以上で(遠見・近見)学習が困る } 眼鏡処方
    - 眼鏡視力 (0.7) 未満 } 両眼矯正視力 = (0.9 ~ 1.0) 位

